

じゅんかんプロジェクト3会議概要

1. 平成15年度テーマ

市民にわかりやすいごみと資源物の分け方・出し方や減量策などについてのガイドブックを市民の意見を取り入れながら作成する。

2. 目的

平成14年10月から実施したごみの12分別によりごみの減量と資源物の回収は順調に推移していることから、12分別の定着と更なる向上を図っていくもの。

3. ガイドブック作成にあたり提案された主な意見

- (1) ごみの分け方・出し方が一目でわかるイラストを掲載すること。
- (2) 若者からお年寄りまで幅広い世代が見やすい・使いやすい・好感の持てるデザインやイラストを掲載すること。
- (3) 知りたいごみの分け方・出し方や情報をすばやく調べることができ、使いやすくする。
- (4) ごみの分け方・出し方を調べるためだけの冊子ではなく、なぜごみを分別する必要があるのか。
ごみ処理にはどの位の費用がかかっているのか。
市民が分別に協力した資源物とごみはどう処理されるのか。
市民一人ひとりができるごみ減量は何か。
など、市民へごみ・リサイクルの啓発的な要素も掲載すること。
以上のような提案があった。

4. ごみ分別ガイドブックの内容

第1部「ごみの分け方・出し方」、第2部「知りたいごみ・リサイクル情報」の2部構成になっている。

- (1) 第1部では、ごみをどの分別区分で出したらよいのか素早くわかるように、ごみを品名ごとに50音順に並べて表にしたもの、12分別実施後、問い合わせの多かった事柄についてイラストを用いてわかりやすく説明を掲載している。
- (2) 第2部では、ごみの分別だけでなく市民に知ってもらいたいごみ・リサイクルに関係する情報を掲載している。具体的には「資源物・ごみを分別することが何故必要なのか?」「市が回収した資源物は何にリサイクルされているの?」などの身近な情報になっている。